

健康食品学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 1単位

《担当者名》 吉田 繁(医療技術学部) 高橋 祐司(医療技術学部) 本間 直幸(非常勤講師)
宇野 智子(非常勤講師) 筒浦さとみ(非常勤講師)

【概要】

高齢化社会を迎え、健康に対する関心がこれまで以上に高まっている。食は未病、予防医学を支える一因であることから、一般の食品のみならず、健康に寄与するとたわれる様々な食品、いわゆる「健康食品」が流通し、多くの消費者がそれを利用してはいる。しかしながら健康食品においては、効果の有無、安全性、薬品との相互作用など明確にすべき多くの問題が残されている。したがって、これらを科学的根拠に基づき適切に助言・指導するコミュニケーターが必要である。本講義では、「健康食品管理士」として必要な食品に関する知識を習得するために、1)食品の機能と健康食品の定義、2)健康食品の問題点・安全性、3)健康食品の主成分・効能、4)医薬品・検査との相互作用、5)臨床での栄養アセスメントについて学習する。「健康食品管理士」「食品衛生管理者・食品衛生監視員」の受験資格を得るためには、本講義の受講が必要。

【学修目標】

- 1)食品の機能と健康食品の定義と現状について説明できる。
- 2)健康食品の摂取における問題点と安全性について説明できる。
- 3)主な健康食品の実例を示し、主成分、効果、安全性等について説明できる。
- 4)食品の表示方法、安全性、添加物、食中毒、有害物質の食品汚染について概要を説明できる。
- 5)医薬品・検査と食品の相互作用の概要について説明でき、主たる相互作用例を挙げることができる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3.データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5.複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

吉田 繁(臨床検査技師)、高橋祐司(臨床検査技師)、宇野智子(看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、医学・医療における食品や栄養の重要性について講義する。